

「地理歴史（地理）」の出題の意図

本年度の地理の問題では、次のような力や知識を問いました。

第1問

設問A

人間活動は地球システムに様々な影響を与え、物的な証拠も残してきました。このことを踏まえて、現在を「人新世」という新しい地質時代に区分しようという提案が検討されています。この議論を材料に、地球と人間との関わりについて、これまで起きてきた、そして現在起こっていることを正しく把握できているかを問いました。

設問B

インドとその周辺地域の大気汚染について、観測事実に基づく2枚の地図を読み取りつつ考察する力を問いました。特に、大気汚染の分布と、それを規定する要因を、人間の多様な活動と自然環境の両方を踏まえて地理学的に説明することを求めています。

第2問

設問A

世界の水産物養殖業に関して、その基本的な特徴と主要な類型を生態環境基盤と結びつけ十分に理解しているか、さらに、長期的な生産動向や今日的課題およびその解決に向けた取り組みを、社会的・技術的条件や環境・資源制約と関連づけて的確に説明できるかを問いました。

設問B

小麦の土地生産性変化の国際比較を通じて、主要な生産国が1960年代以降に経験してきた政治的・経済的・社会的変化と、それが土地生産性の変化を引き起こすメカニズムを説明することを求めました。

第3問

設問A

地形図をもとに、近年、我が国で発生した土砂災害の実態を読み取ること、ならびに、実態をふまえた対策の現状の説明を求めました。さらに、災害リスクの高い土地に住むこととなった社会的背景について問いました。

設問B

日本における住宅の特徴を、さまざまな地理的な知識を組み合わせることで理解し、説明する力を問いました。また、住宅の変化が、他の地理的事象とどのように結びついているのかについて論じることを求めています。